

松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	歯の移植の術後経過に関する検討
研究責任者	口腔顎顔面外科学講座 教授 芳澤 享子
研究期間	2020年5月11日～2025年3月31日
研究の目的・概要	自家歯牙移植は現在広く行われており、移植歯の歯周組織が良好に治癒し再生すれば、正常歯と同様の機能を果たすことが可能であること、自分自身の組織や器官を有効活用できることが利点です。その一方で移植後の創傷治癒不良や歯根吸収などで予後不良となり、移植歯の脱落や抜歯に至る場合もあります。今回は移植歯の経過良好な群（経過良好群）と歯根吸収、自然脱落や抜歯に至る群（経過不良群）を検証し、予後不良となる因子を特定することを目的とします。
利用又は他機関に提供する情報	2016年4月～2021年3月までに松本歯科大学病院で歯の移植手術を受けられた方の以下の情報を利用します。 情報：年齢、性別、手術時及び経過観察中のカルテ、口腔内写真、研究用模型、エックス線写真等
試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	得られた試料・情報は、移植時の患者の性別、年齢、移植部位およびドナーとなった歯の歯種、移植部位の歯の喪失理由、喪失してから移植までの期間、移植床の状態、移植後の経過などを評価する目的で使用されます。研究中は名前を非表記とし、匿名化して管理を行います。全ての施設のデータは松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座に置く外付け HDD で管理します。分析に使用する外付け HDD はデータの流出を防ぐためパスワード保護を行い、インターネットに接続しない環境に置きます。 研究結果は、ノートあるいはデータファイルとしての形で記録に残します。得られた成果は、個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます。 当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません。
試料・情報を利用する者の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔顎顔面外科学講座・教授 芳澤 享子 ・口腔顎顔面外科学講座・教授 栗原 祐史 ・口腔顎顔面外科学講座・助教 佐藤 工 ・口腔顎顔面外科学講座・助教 富士 安奈 ・口腔顎顔面外科学講座・助教 近藤 皓彦 ・病院 口腔外科・診療助手 金 唯真 ・病院 口腔外科・診療助手 渡邊 遊理
問い合わせ先	松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座 芳澤 享子 電話：0263-51-2066